

## 岩手愛児会の使命

岩手愛児会は、福祉・医療・教育の三位一体の連携で、子どもに最善の養育・医療の提供を行う社会福祉法人です。  
隣接の小学部から高等部まで教育を保障する岩手県立盛岡青松支援学校があります。

## 岩手愛児会沿革

1956	結核の子どもたちを救うため、財団法人「岩手愛児会」が設立される(年賀葉書寄付金4,472万円の配分決定)
1957	虚弱児施設「みちのく・みどり学園」(定員100名)を開設
1961	もりおかこども病院の前身である医療施設「みちのく・みどり学園療養所」(定床30床)を開設 虚弱児施設「みちのくみどり学園」を定員50名に変更
1967	「岩手愛児会」の法人格を財団法人から社会福祉法人に変更
1969	医療施設「みちのく・みどり学園療養所」を「みどり学園小児病院」(定床50床)に改称し、岩手県内の喘息、腎疾患などの慢性疾患児の病棟を開設(以後76床に増床)
1977	盛岡市上田字松屋敷地内に新築移転
1978	岩手県立松園養護学校が隣接地に設置され、これにより三位一体の療育体制が整備される
1985	みどり学園小児病院に思春期外来と思春期病棟19床を併設したほか、児童精神科医の診察も開始
1987	情緒障害児短期治療施設「ことりざわ学園」(50名定員)を開設
1990	施設型小児病院「みどり学園小児病院」から一般小児病院「もりおかこども病院」に改称
1995	病気のため集団保育が困難な子どもの看護・保育を行う「たんぼ病児保育所」を開設

## ご寄付のお願い

岩手愛児会のみちのく・みどり学園、もりおかこども病院の施設は築40年を超えて、その老朽化と手狭さが限界に達しています。よりよい養育・療育環境のためにも、両施設の新築もしくは改築の施設整備が喫緊の課題となっています。

岩手愛児会は民間の施設であり、各施設の運営のためには、皆様からの寄付を必要としています。

当会の「子どもこそ原点」という理念、そして、「病める、恵まれない子を救う」ための活動にご賛同頂ける篤志家ならびに企業各社・慈善団体の皆様のご支援をお願いします。

## 寄付受付と方法(How to Donate)

岩手愛児会への寄付は、以下の要領でお願い致します。

- ホームページの「寄付金申込書」をダウンロードしていただき、申込書に必要事項をご記入下さい。
- 記入いただいた「寄付申込書」をFAXまたは郵便で法人事務局までご送付下さい。また、メールにて添付していただき送付も可能となっております。
- 寄付金につきましては、法人の口座にお振込みをいただくか、現金書留でご送金下さい。

口座名義：社会福祉法人 岩手愛児会  
(シャカイフクシホウジン イワテアイジカイ)

銀行名：岩手銀行  
松園支店「普通預金 No 0024288」

- また、ホームページ寄附のページよりクレジット決済も可能となっておりますので、右のQRコードからアクセスして下さい。
- 「寄付金申込書」には、寄付の金額、寄付先(法人本部、施設、病院等を指定)をご明記下さい。
- 法人の方には、「寄付金申込書」と寄付金の金額をご確認のうえ、領収書を発行致します。この領収書は確定申告の際に、寄付金控除を受ける際に必要な書類となります。



## お問い合わせ先

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷11-14  
社会福祉法人 岩手愛児会 事務局  
Tel:019-662-5696 / FAX:019-662-5695  
E-mail:kifu@aiji.or.jp  
ホームページ:http://www.aiji.or.jp/



社会福祉法人 岩手愛児会

## 子どもこそ原点!



21世紀こそ子ども達の世紀に

## 社会福祉法人 岩手愛児会

児童養護施設「みちのく・みどり学園」 児童心理治療施設「ことりざわ学園」  
医療施設「もりおかこども病院」 病児保育施設「たんぼ病児保育所」

# 病める、恵まれない子どもたちの未来に向けて

岩手愛児会は児童養護施設「みちのく・みどり学園」・医療施設「もりおかこども病院」・児童心理治療施設「ことりさわ学園」及び病児保育施設「たんぼぼ病児保育所」を経営している法人です。

その基本理念として「子どもこそ原点」を掲げ、岩手の病める、恵まれない子どもを救うために、この60年間3施設で子どもの身体と心の総合的な養育・療育・医療を行ってきました。現在は児童養護施設では要養護の子どもたち、医療施設では病児と超重症児たち、児童心理治療施設では不登校児たちをケアしています。

岩手愛児会の経営の最終到達点は、子どもと家族を幸福にするため地域社会に貢献していくことを目指しています。

## 赤ちゃんから高校生までの健康・生活を守る岩手愛児会施設

### みちのく・みどり学園

全国でも希有な医療系の児童養護施設として、環境上養護を要する児童、虐待されている児童を養育し社会への自立を支援します。併せて虚弱児施設として創設された従来の機能を生かし、医療的な支援が必要な児童に積極的に対応し、児童福祉の向上に寄与することを使命としています。



被虐待児対応チームによる養育プログラム

- 1 被虐待児の自立支援計画の共有化とアセスメントの検証を繰り返し支援する。
- 2 被虐待児の自立支援・心理治療について個別担当とのモニタリングによる日常的な連携を行なう。
- 3 被虐待児の支援について専門職によるソーシャルワークを実践する。
- 4 心理療法士・個別対応職員の研修と実践を進め、担当職員と児童とのCSPにおける基本的な関わり方を中心に支援の向上を行う。
- 5 医療機関との密な連携を礎に、施設の小規模化をすすめ、生活と治療的援助の統合化を確立させる。

### ことりさわ学園

心理的問題を抱え日常生活の多岐にわたり支障をきたしている子ども達に、医療的な観点を持った生活支援を基盤とした心理治療を中心に学校教育と緊密な連携による総合的な治療を提供しています。その中で児童相談所と共に子どもの家族への支援を行い、家庭復帰や児童養護施設や里親など地域で生活出来るようにすることを目指しています。

【施設の基本方針】 子ども自身による子ども達のための「心の港」の形成課程こそが子ども達に必要であり、それが子ども達にとっての治療過程となるという考え方を大切にしている。

- 1 子ども1人に対して1つの治療・支援方針を確立する。
- 2 医療・心理・生活支援・教育の総合的な療育支援体系を確立する。
- 3 施設単独での治療・支援の自己完結性を求めない。
- 4 子どもの毎日の生活行動の中で治療・支援をめざす。
- 5 近隣社会や原籍校との連携の中で治療・支援を行う。



### もりおかこども病院

病院理念は小児科領域の初期医療・地域医療・救急医療、小児保健に積極的に取り組み、病めるすべての子ども達に最良の医療を提供し、さらには心身に慢性的な疾患や障がいを持つ子ども達が生涯にわたり適切な療育がうけられる病院を目指しています。

～基本方針～

- 1 小児アレルギー、消化器病、内分泌、代謝疾患の専門的医療。
- 2 小児心身症、小児児童精神科領域の総合的医療。
- 3 かかりつけ医から二次救急医療までの地域医療への貢献。
- 4 地域社会での子育て支援、小児保健・予防医学への貢献。
- 5 超重症児・者の総合的医療。



診療科:小児科、小児歯科、児童精神科。  
病床数:64床

### たんぼぼ病児保育所

病気のため集団保育が困難なお子様を、仕事などの都合により家庭で保育できない保護者に代わって、看護と保育を行う



事業です。盛岡市の委託を受け、子育てと就労の両立支援を目的として行っています。

たんぼぼ病児保育所は、もりおかこども病院と連携して、医師・看護師・保育士など専門のスタッフがお子様の健康状態をチェックしながら保育・服薬の介助および症状に応じた給食の提供などを行っています。

## Campaign

## 愛児会キャンペーン

### 糖尿病キャンプ

1型糖尿病の患者やその家族と一緒に野外活動を通して、生活体験の拡大と家族交流を目的としています。  
※もりおかこども病院は岩手つくしんぼ友の会に協賛しています。



### みどりの種市転住

洋野町種市は、40年以上前から夏の数日間、社会的養護が必要な子どもたちを、地域で育てる「地域養護」の取り組みとして受け入れて頂いています。



### ことりさわ学園「学園公開」

毎年、2月の月上旬に子ども達の生活や様々な取り組みと、ことりさわ学園の役割を地域や家族の方々に広く理解していただく機会として、学園を一般開放しています。

